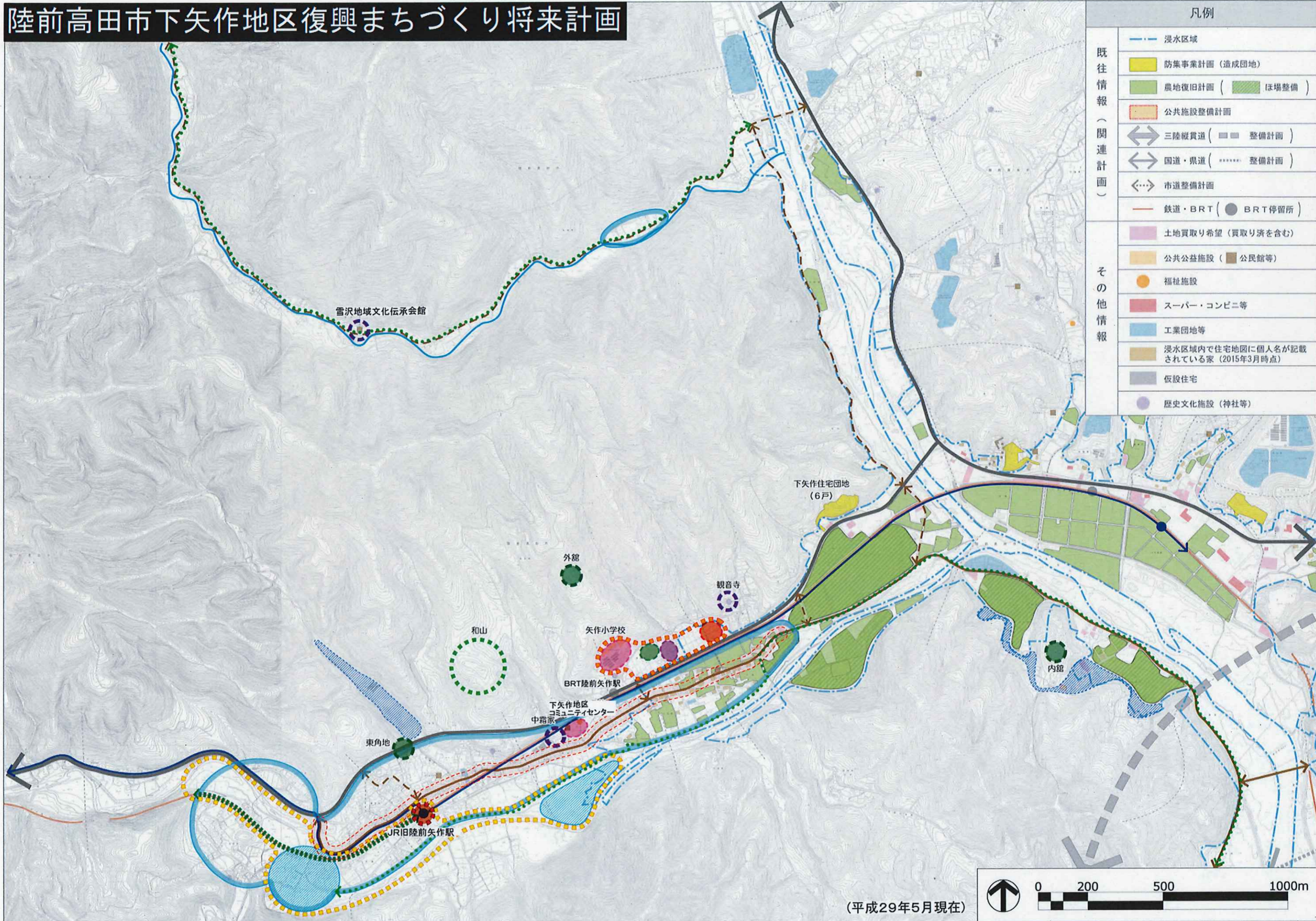
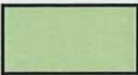












陸前高田市下矢作地区復興まちづくり将来計画



凡例	
既往情報 (関連計画)	<ul style="list-style-type: none"> 浸水区域 防集事業計画 (造成団地) 農地復旧計画 (ほ場整備) 公共施設整備計画 三陸復興道路 (整備計画) 国道・県道 (整備計画) 市道整備計画 鉄道・BRT (BRT停留所) 土地買取り希望 (買取り済を含む) 公共公益施設 (公民館等) 福祉施設 スーパー・コンビニ等 工業団地等 浸水区域内で住宅地図に個人名が記載されている家 (2015年3月時点) 仮設住宅 歴史文化施設 (神社等)
その他情報	<ul style="list-style-type: none"> 土地買取り希望 (買取り済を含む) 公共公益施設 (公民館等) 福祉施設 スーパー・コンビニ等 工業団地等 浸水区域内で住宅地図に個人名が記載されている家 (2015年3月時点) 仮設住宅 歴史文化施設 (神社等)

下矢作地区復興まちづくり将来計画
【産業の再生・復興】

分野	取り組み項目等		内容	備考
農業の再生・復興	稲作農業振興ゾーン		①農地の原形復旧等 ②下矢作機械利用組合の組織強化	ほ場整備区域等
	休耕地畑を活用した新規特産品の展開		①休耕地、被災荒廃農地所有者の意向把握及び活用方策の検討 ②ソバ、椿、アピオス等の新たな農産品の検討、試行及び6次産業化につながる農産品の育成 ③組織化・法人化と、それを基盤とした新規就業者の支援の仕組みづくり	買い上げ用地の活用を含む
	営農環境の向上（農業ゾーン全体）		①農業用水の安定的な確保（取水の改善等） ②農地への浸水防止対策の強化（宅地を含む総合的対応の必要性）	
山を活かした産業の振興	山の管理、森作りの充実		①作業道の修復整備 ②森、里山の管理・森づくりを進めるための体制の整備	地区内の製材所や林業関係者との連携
	森林資源を活かした地場産業づくり		①木材を活用した多様な産業化の検討（木工品、家具等からバイオマスまで） ②起業化を進める研究と人材育成を支える体制づくりとその拠点づくり	JR大船渡線旧陸前矢作駅周辺
	山の環境を活かした観光交流産業づくり		①山の知恵を持つ人材の発掘、育成 ②山村の暮らし体験プログラムの開発・民泊メニューづくり	市全体のグリーンツーリズム活動との連携
地場産業・地域資源を活かした観光レクリエーションの振興 	地場産品を販売し食べられる拠点づくり		山と川の資源を活かした魅力づくり活動の検討・推進 ・木材加工品・木工品など山の資源を活かした産品の販売や体験プログラムの拠点 ・農産品を活かした直売所及び農家レストラン ・川の幸（鮎・やまめ・カニ等）が食べられる川レストラン	JR大船渡線旧陸前矢作駅周辺を拠点とした観光レクリエーションゾーンの形成
	JR大船渡線線路敷き及び矢作川河川敷を活用したレクリエーションゾーン		JR大船渡線旧陸前矢作駅以西の鉄道敷きを活かして矢作川の渓谷を楽しめる工夫を検討（レールマウンテンバイクやトロッコ、遊歩道など）	
			矢作川河川敷を活用したアウトドア体験公園づくり	
	歴史資源の魅力を活かした観光開発の推進		内館・外館跡・東角地遺跡等の歴史資源としての実態調査（試掘調査等）や歴史研究に基づく活用方向の検討	回遊のためのネットワーク化
			①中霜家や観音寺、雪沢地域文化伝承会館等の歴史資源を活かせる環境整備（観音寺アクセス路の整備を含む） ②歴史文化活動（田植え踊り・おしら様等）の伝承 雪沢金山を活かした取り組みの検討（玉山金山との連携・ジオパーク）	
	自然資源の魅力を活かした観光開発の推進		緩傾斜山林地（和山）の有効活用の検討	
			①雪沢川の観光レクリエーション資源としての環境整備（ホタル・サンショウウオ等の観察や魚釣りのできる環境整備） ②雪沢川と矢作川を結ぶハイキングコースの検討（仏坂の検討を含む）	山村の暮らし体験プログラムの一環として
		雪沢川、矢作川、気仙川の川沿いや河川敷の遊歩道整備		



平成29年5月現在

【暮らしの再生・復興】

分野	取り組み項目等		内容	備考
住宅機能の確保	防災集団移転住宅団地の整備		1団地	下矢作住宅団地（6戸）
	生活基盤の強化		簡易水道本管の整備（7区・旧道沿い）	
矢作小学校を中心とする地域コミュニティの拠点ゾーン 	地域の子どもから高齢者までが交流できる拠点		下矢作地区コミュニティセンター、矢作小学校の地域交流の場としての機能強化	
			福祉・保健医療施設の誘致	
			交流のための公園・広場の整備	仮設グラウンドの将来的な有効活用
	暮らしの利便を支える拠点		商業施設の誘導	観音寺下のゾーンの強化
暮らしを支える公共交通の充実	BRT及び県交通バスの利便性向上と地域振興への寄与		BRTの利便性向上 ・BRT竹駒駅とJR大船渡線旧陸前矢作駅間の専用軌道による運行 ・国道343号利用の一関直ルートを見据えたJR大船渡線旧陸前矢作駅の再整備及び接続道路の拡幅整備（県交通バスとの乗り換えへの配慮を含む）	
			県交通バスの利便性向上 ・気仙川右岸ルートの復活・増便等 ・市民利用に配慮した臨時運行などの柔軟な運行サービスの向上	
	交通弱者対策の個別サービスの充実		福祉タクシー等の導入の検討	
安全な道路体系の確立	広域交通や観光活動を支える広域幹線道路の充実		①国道340号と国道343号の交差点の改善（信号機設置・交差点改良等） ②国道343号の機能強化（交差点改良・歩道整備等）	信号機設置は要望中
	各集落を結び広域に連絡する幹線道路の整備・強化		①旧道の機能強化（路面改修・拡幅整備等） ②嶋部の川沿い道路の機能強化（拡幅整備・今泉方面との連絡） ③詔石橋の早期復旧	嶋部の川沿い道路は計画中 詔石橋は位置を変更して計画中
	地区内主要道路の強化（避難動線を含む）		旧道と国道343号を結ぶ南北道路の機能強化（4路線・拡幅整備・交差点改良等）	矢作小学校前の区間についてはJRと協議
集落景観の維持・向上	旧道沿いの街並みの向上		①旧道沿いの緑化の維持・向上 ②建築ルールの検討（天然スレート葺きの建物に調和した色、素材、建て方等）	
	天然スレート葺き民家の保全		天然スレートを使った古い民家の保全・修復 ・専門家を交えた調査・研究 ・保全・修復技術の確立 ・保全に向けた支援の検討	登録文化財や指定文化財の指定へ向けた取り組み（調査・研究）

平成29年5月現在



【防災性の向上】

分野	取り組み項目等	内容	備考
河川の水害防止機能の強化	気仙川の水害防止機能の強化	①堤防のかさ上げ強化 ②流下能力向上のための河川敷内の整備（障害物の除去・浚渫等）	
	矢作川の水害防止機能の強化	①堤防のかさ上げ強化（緊急性の高い区間の把握と整備推進） ②監視体制の強化（カメラ・情報伝達等）	県と調整
	雪沢川の水害防止機能の強化	①川沿いの山の管理の推進（杉の伐採） ②浚渫や堤防の強化	気仙川との合流付近に関しては県が対応 上流エリアに関しては状況確認
集落内の雨水排水機能の強化	総合的・面的な雨水排水計画に基づく整備・改善	 ①雨水排水計画の策定 ②下流地域からの計画的な整備の推進（緊急性等の配慮）	
	排水路の維持管理の強化	維持管理体制の再検討	
	土砂災害対策の強化	 嶋部、広桶沢の水路、側溝等の維持・改善	嶋部の山側道路は側溝整備済
緊急時の避難・防災体制の強化	避難場所の充実	①下矢作地区コミュニティセンターの防災設備強化 ②矢作小学校の避難拠点としての整備強化	
	災害情報の確実な提供	①防災無線の改善 ②避難誘導・防災情報表示設備の充実 ③ハザードマップ等の事前情報の周知	「メール配信システム」「電話応答サービス」等の個別情報伝達手段の活用 戸別受信機の貸出などの活用
防犯対策の強化	防犯灯の整備拡充	旧道沿いの防犯灯の増設	


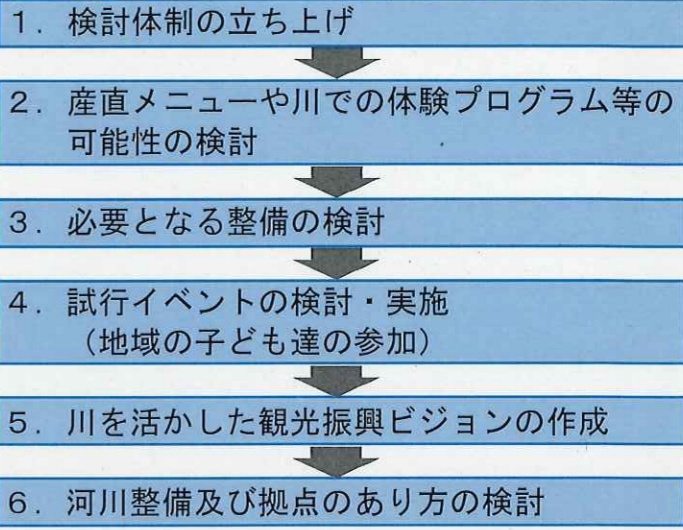
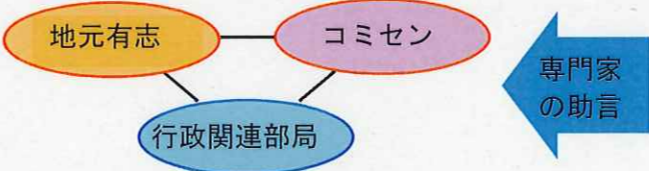
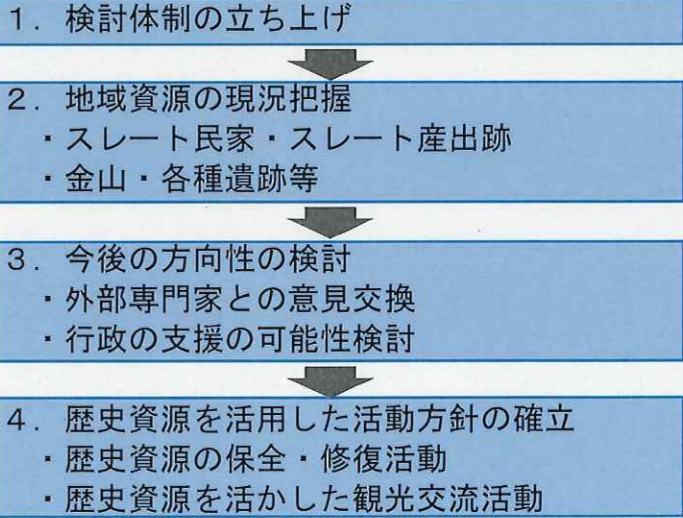
平成29年5月現在

【今後、当面の重点的な地域での取り組み】

(地域住民が主体となって自主的に取り組むべき方向性の提案)

今後取り組むべきプロジェクト	目的及び取り組み目標等	検討体制	検討のステップ
<p>1. 山の資源を活かした地区の振興プロジェクト</p>	<p>■木を活かした地域振興</p> <p>①木材の多様な活用の可能性の明確化（木工、製材、燃料資源としての活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> 活用方策検討のための勉強会実施 多様な活用の継続的な試行 木工作家、関係事業者等との連携体制づくり <p>②山の管理手法の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 木材生産の場としての必要な整備の検討 所有者の調査と呼びかけ 仏坂等の整備検討と合わせた散策路整備等の検討 	<p>・地元有志、生産者（森林所有者・林業家）、製材所関係者、行政関連部局が一体となった検討体制づくり</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検討体制の立ち上げ 2. 木の活用可能性の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・他事例、全国的な方向性等の研究 3. 参加メンバーの呼びかけ <ul style="list-style-type: none"> ・木工作家等の人材の参加呼びかけ ・森林所有者の把握 4. 森林活用ビジョンの作成と実施主体づくり (5. 拠点のあり方への反映)
	<p>■山の恵み（山菜・キノコ等）活かした地域振興</p> <p>①山の恵みを使った特産品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工品・惣菜等の試行・試食会の実施 <p>②山の恵みを使った料理メニューづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 各家庭での山菜等を使った料理の持ち寄り（コンテスト・レシピ集作成等） 地域の伝統食（お菓子等を含む）と合わせた定番メニューづくり 	<p>・地元有志、コミセンを中心とした検討部会の立ち上げ</p>  <p>(必要に応じて専門家を招へい)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検討体制の立ち上げ 2. 産直メニューや山での体験プログラム等の可能性の検討 3. 試行イベントの検討・実施 (地域の子どもの参加) 4. 山を活かした観光振興ビジョンの作成 (5. 拠点のあり方の検討)
	<p>■山の知恵を持つ人を案内人とした森林レクリエーションの推進</p> <p>①山に詳しい人材の発掘・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 山の知恵を持つ人への参加呼びかけ 知恵の継承のための勉強会実施 <p>②体験プログラムの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 山遊び、樹木、生態系の観察、林業体験等の森林体験プログラムの開発 		

平成29年5月現在

今後取り組むべきプロジェクト	目的及び取り組み目標等	検討体制	検討のステップ
<p>2. 川の魅力向上プロジェクト</p>	<p>■矢作川の河川敷レクリエーションゾーンの整備</p> <p>①活動イメージ・プログラムづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水石等の魅力の再確認 ・川遊び等のプログラムの実施 <p>②ゾーン整備のあり方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全確保のための整備の必要性検討 ・河川の自然環境保全・育成と整合のとれた整備の検討 ・アクセス路確保、地区内の他のエリアとの回遊動線の設定 <p>■雪沢川沿いの体験プログラムの推進</p> <p>①生きもの観察・釣り等の活動イメージ・プログラムづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きもの観察等のプログラムの実施と小学校などの授業との連携 <p>②活動のための環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川沿いの必要な整備の検討 ・仏坂等のアクセス路の検討 <p>■川の恵み（ヤマメ・アユ・ウナギ・カニ等）を活かした魅力づくり</p> <p>①川の恵みを使った特産品開発、料理メニューづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント時等での提供 ・河川敷等で提供できる場づくり <p>②食堂の開設に向けた体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山菜などの地域産品と合わせた料理の提供の体制、場づくり 	<p>・地元有志、コミセンを中心とした検討部会の立ち上げ</p>  <p>(必要に応じて専門家を招へい)</p>	
<p>3. 歴史資源を活かした地域の魅力向上プロジェクト</p>	<p>■天然スレートを使った古い民家の保全・修復</p> <p>①専門家を交えた調査・研究</p> <p>②保全・修復技術の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家、地元工務店等との連携した手法確立 <p>③保全に向けた支援の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡指定等の検討 <p>■雪沢金山・スレート産出の歴史的資源の魅力化</p> <p>①金山跡やスレート産出跡等の歴史環境の保全・修復</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金、スレートの産出地の現況把握 ・産出地跡の保全、周辺環境整備 <p>②金やスレート産出に関わる歴史資料の収集・蓄積</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者ヒアリングと資料収集 ・拠点での資料コーナーの開設 <p>③金山やスレート産出のガイド人材の発掘・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でのガイドの育成 <p>④下矢作の歴史を学ぶ機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史ツアー等のイベントの実施 ・小学校での総合学習等での歴史教育の場づくり 	<p>・地元有志、コミセン、行政関連部局での検討体制づくり</p> <p>・外部の専門家（大学の研究者等）の助言の依頼</p> 	

平成29年5月現在